

第2期 柏市地域健康福祉活動計画

平成23年度進捗状況報告書
～ 計画3年目の取り組み ～



社会福祉
法人

柏市社会福祉協議会

目 次

第1章 計画の推進及び進行管理	1
第2章 重点プロジェクトの進捗状況	3
第3章 各施策の進捗状況	10
第4章 市社協の発展・強化	11
第5章 地区別計画	12
資 料 施策別の目標値進捗状況一覧	14

この報告書は、地域健康福祉活動計画(第5章)に基づき、計画の進捗状況を年度ごとにまとめ、その進捗管理により計画の効果的な推進と着実な成果をあげることがを目的に作成するものです。

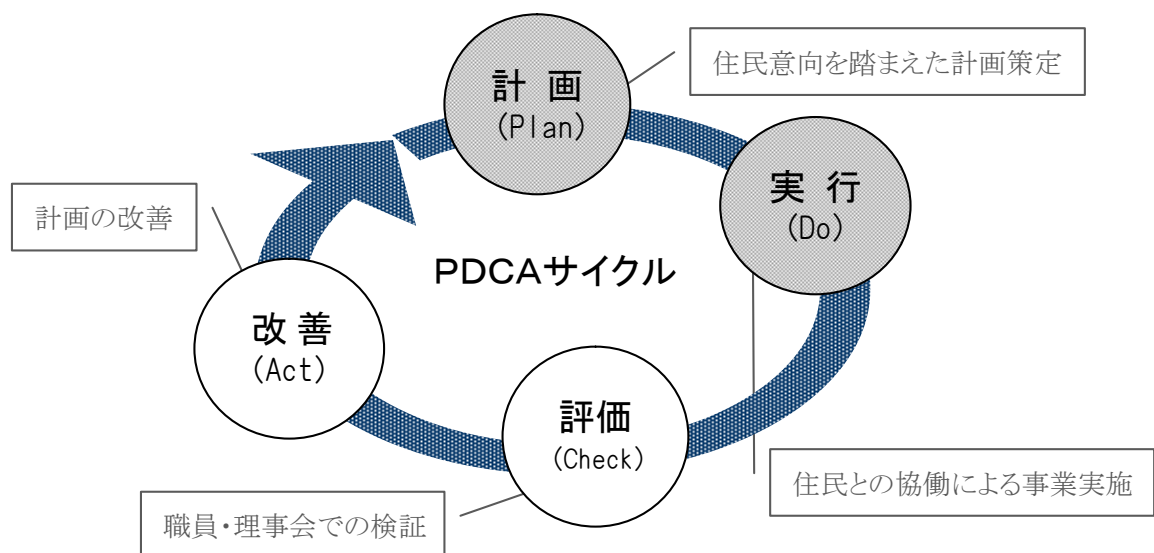
また、報告書は、ホームページに掲載する等、その取り組み状況を広く公表します。

第1章 計画の推進及び進行管理

『PDCAサイクル』に基づく計画の推進及び進行管理を行ない、計画の着実な推進と成果を目指します。

1 報告の主旨

この報告書は、「第2期 柏市地域健康福祉活動計画」の進行状況を年度ごとにとりまとめ、その進行管理（PDCAサイクル）により、計画の効果的な推進と着実な成果をあげるための基礎資料として作成・報告するものです。



2 計画の推進と進行管理

計画の推進及び進捗状況は、職員（計画担当者会議等）による内部検証・評価と、理事による経営的視点からの検証・評価を行うとともに、広くその成果を公表します。

また、市との協働による「新規事業の立ち上げ」や「既存事業の見直し」、「モデル事業（地域活動拠点強化事業）の検証」については、市との協働会議等において検討・検証を行います。（計画第5章「計画の推進」参照）

3 計画推進体制

計画に基づき各施策を担当する部署においてその推進を図るとともに、計画担当者会議を開催し、計画全体の進捗管理を行いました。特に計画の進捗管理は、「進捗管理・評価表」を活用し、取組みに対する目標設定と評価を協議し、共有することができました。

(1) 活動計画担当者会議の開催

設 置	平成 22 年 12 月
構 成	担当リーダー及び企画政策担当
役 割	計画の進捗管理と評価、課題提起と協議、事務連絡、その他必要な事務事業調整等
実 績	開催回数 7 回（平成 23 年度実績） 主な内容 ・活動計画の推進と進捗管理について ・進捗管理・評価表の作成と協議 ・進捗状況報告書の作成 ・施策内容の確認（計画内容の共通認識と意思統一）
成 果	課題、評価、目標の共有

(2) 進捗管理・評価表の作成及び評価

年度ごとに、各施策の目標設定から実績報告及び評価を一元的に管理・評価し、着実に計画を推進するために、「進捗管理・評価表」を作成しました。

また、各施策の目標や実績・評価は、計画担当者会議で協議しながら、職員全体で共有しながら計画の推進を図りました。

(3) 進捗状況報告書の作成とホームページによる公開

年度ごとに、取り組み内容や成果等の進捗状況を取りまとめた報告書を作成しました。同報告書は、理事会等で報告するとともに、ホームページに掲載し、広く計画の進捗状況を市民に公表しました。

(4) 地区社会福祉協議会連絡会での報告

平成 23 年 9 月 14 日に開催された第 2 回地区社会福祉協議会連絡会で、各地区社協会長等に平成 21 年度から 2 カ年間の取組み状況について報告を行いました。

また、同計画の推進への協力と地区別計画の推進をお願いしました。



第2章 重点プロジェクトの進捗状況

地域密着型社協として、地域に根付いた事業を展開していくため、3つのプロジェクトに重点をおいた取り組みを行いました。

1 コーディネーターの配置

【目標】 20のコミュニティエリアにコーディネーターを配置する。

【達成状況】 2 地区 / 20地区 ≪達成率 10 %≫

◇ 平成23年度 各地域活動センターの活動の充実を図りました。

1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目
平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
1 地区	2 地区	2 地区	地区	地区

※ 地区数は、設置された地区数の合計です。

《モデル事業から本格実施へ（経過報告）》

平成21年4月より風早南部地域活動センターをモデル事業として実施。同年7月より3カ月毎に検証会議を開催。5回に渡る検証の結果、「本格的な事業として進めていくことが相当」との結論に至り、平成22年度より本格実施となりました。

設 置	平成 21 年 7 月～平成 22 年 7 月（3 ヶ月ごとに開催／全 5 回）
構 成	市民生活部、保健福祉部、児童家庭部関係課、社会福祉協議会
結 論	本格的事業として進めていくことが相当
評 価	風早南部地域活動センターの実績から、下記の成果が評価された。 ＊ 身近な福祉の相談窓口として多くの市民が利用、必要とした ＊ 相談内容を整理して専門機関へ繋ぐランチ機能が発揮された ＊ お互い顔が見える中での地域活動支援が展開できる ＊ 地域ニーズにあった事業展開が可能なこと など
課 題	財政面、コーディネーターの育成・質の確保、計画的な設置

※ 市民・市・社協の協働による地域活動拠点強化モデル事業検証結果報告書より

【主な取り組み(実績)】

(1) センター設置と利用状況

	風早南部地域活動センター	松葉町地域活動センター
設 置	平成21年4月1日	平成22年11月1日
場 所	高柳近隣センター2階	松葉近隣センター1階
開設日時	毎週火・水・金(10時～16時)	毎週月・木・金(10時～16時)
配置職員	職員2名	職員2名
開設日数	150日／月平均12.5日	146日／月平均12.1日
利用総数	954件／月平均79.5件	401件／月平均33.4件
利用方法	来所(82%)、訪問(8%)、 電話(10%)	来所(73%)、訪問(18%)、 電話(9%)
利 用 者	ふる協・地区社協(55%)、 地域関係者(21%)、市民(11%)、 民生委員(9%)、その他(4%)	市民(38%)、地域関係者(29%)、 ふる協(14%)、民生委員(13%)、 その他(6%)
利用目的	地域活動関係489件(51%) 相談関係138件(15%) その他327件(34%)	地域活動関係219件(54%) 相談関係91件(23%) その他91件(23%)



風早南部地域活動センター



松葉町地域活動センター

(2) 相談支援対応状況

身近な地域で相談を受け止め、整理し、的確に繋ぎました。

	風早南部地域活動センター	松葉町地域活動センター
相談件数	138件(月平均11.5件)	91件(月平均7.6件)
相談内容	ボランティア相談が最も多い	ボランティア相談が最も多い
対 応 例	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てが一段落、ボランティア活動を始めたい。 ⇒ ボランティア活動の紹介(ボランティアセンターへ) ・遠方の母を柏に連れてきたい。福祉施設は利用できるか。 ⇒ 認定状況等を確認し調整(包括支援センターへ) 	

(3) 地域活動との連携・支援

様々な連携の中継をし、支える側（担い手）の側面的な支援を行いました。

- ① 民生委員や地区社協の見守り活動と連携した見守り活動の強化（風早南部）
- ② 民生委員活動の側面的支援や身近に繋ぐ場があることでの安心感の提供
（風早南部・松葉共通）
- ③ 継続活動と新たな人材育成のため、成果や課題を共有する対話の場の提供
（風早南部・松葉共通）

(4) ボランティアの育成

活動のコーディネートや担い手づくりを目的とした講座を行いました。

- ① ボランティア活動のきっかけづくりと活動の情報提供、活動センターのPRを目的とした講座を開催。（風早南部・松葉共通）
 - * 聞き上手講座 * 簡単レク講座
 - * 多世代コミュニティ事業まちセミ講座（8回）（風早南部）
 - * メイクアップビューティセミナー * スクラップブックング
 - * るんるんバルーンアート * はじめようボランティア
 - * まなび倶楽部（松葉）
- ② ボランティア活動希望者に活動情報や活動機会（サロンや講座への協力等）を提供。（風早南部・松葉共通）



簡単レク講座(風早南部)



るんるんバルーンアート(松葉)

(5) 住民参加型有償サービス

身近な場所に窓口があるため、協力会員の来所機会も多く、意思の疎通が図りやすい環境ができました。また、ボランティア講座をきっかけに、さわやかサービスの協力会員に結び付けることも出来ました。

(6) 地域ニーズに合った事業

地域ニーズを踏まえ、地域に即した事業を企画しています。

- ① 多世代交流型コミュニティの構築やコミュニティカフェを拠点とした、事業実施のための体制整備・人材育成を行いました。（風早南部）
- ② 空き店舗を活用した住民が集うコミュニティカフェを協働で検討中
（松葉）

2 支えあい活動の立ち上げ支援

【目標】 支えあい活動（サロン活動等）を300創出する。

【達成状況】 213 活動 / 300活動 ≪達成率 71 %≫

◇ 平成 23 年度 新たに市内 21 の支えあい活動を支援しました。

1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目
平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
180 活動	192 活動	213活動	活動	活動

※ 活動数は、各地区社協の実績報告から算出した活動の合計です。

【主な取り組み(実績)】

(1) 地区社協連絡会での事例発表

年 4 回の地区社協連絡会場で、積極的な支えあい活動や特徴的な活動を展開している地区社協の事例発表を行いました。

≪活動発表≫

- ①「支え合いの会 “えがお”」
(豊四季台地区社協)
- ②「地域見守りネットワーク活動」
(藤心地区社協)
- ③「南部なんでも相談室」
(南部地区社協)



(2) 地区活動マップの更新

各地区の健康福祉活動が一目でわかる地区活動マップを更新しました。

≪掲載内容(一例)≫

- ・ 地区の概要
- ・ 町会、自治会、区等データ
- ・ ふれあい、子育てサロン情報
- ・ 社会資源マップ 等



(3) 支えあい活動の推進

① 訪問支援ボランティア意見交換会の開催

地域で活動している訪問ボランティア間の情報交換を行いました。

② 子育て支援講座の開催

子育て支援活動に携わるボランティアのスキルアップと活動の拡充を目的に、かしわファミリー・サポート・センターと共催であそび歌の講座を開催しました。

保育シンガーソングライターとして活躍中の荒巻シャケ氏と一緒に楽しみながら学びました。



③ 支えあい活動立ち上げ支援出前講座

新たにふれあいサロン等の支えあい活動の立ち上げを目指す団体を対象に、本会職員が密着して、立ち上げまでをサポートする出前講座を立ち上げました。



(4) 新たな支えあい活動の創設

① ふれあい喫茶こかげ（風早北部地区）

大井青年館のスペースを活用した地域住民の憩いの場となっています。

お茶を飲みながら折り紙や手芸等を楽しむ参加者もいます。施設の方や体が不自由な方も毎回喜んで参加しています。

《開催日》 毎月第4木曜日
13時～16時00分

《会場》 大井青年館



② 小青田 元気会（田中地区）

新しい町会会館での活動が立ち上がりました。第1回目のオープン記念として町会主催の敬老会を開催しました。

《開催日》 奇数月第2日曜日
13時30分～15時30分

《会場》 小青田町会会館



3 ボランティアの育成支援

【目標】 新たな担い手を 1,000 人確保(育成)する。

【達成状況】 3, 331 人 / 1,000 人 ≪達成率 333 %≫

◇ 平成 23 年度 1, 583 人の人材を確保(育成)

1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目
平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
343 人	1, 748 人	3, 331 人	人	人

※ 実績人数は、積算対象とした活動等の合計値です。(P22 参照)

【主な取り組み(実績)】

(1) コーディネートの強化

活性化プランに基づき、コーディネートの強化を図りました。基本的な対応の見直しやコーディネーターのあきらめない対応が、大きな成果を生みボランティアに関する相談件数は、年間 3, 000 件を越えました。

現在、切れ目なく市民が来所する環境と活気あるボランティアセンターとなりました。



(2) 各種講座の開催

ボランティアの入門講座からフォローアップ講座、また必要な人材の育成を目的とした講座を 13 講座(延 242 人参加)企画、開催し、年間を通じて幅広い人材の養成、育成に努めました。

《主な開催講座》

- * シニアポーズ養成講座と勉強会
- * 1 日体験ボラ (Vol. 1 ~ Vol. 4)
- * 折り紙ボランティア講座と
フォローアップ講座
- * わらべうた・手遊びでボランティア
講座とわらべうたフォローアップ講座
- * 車椅子修理ボランティア (男性向け)



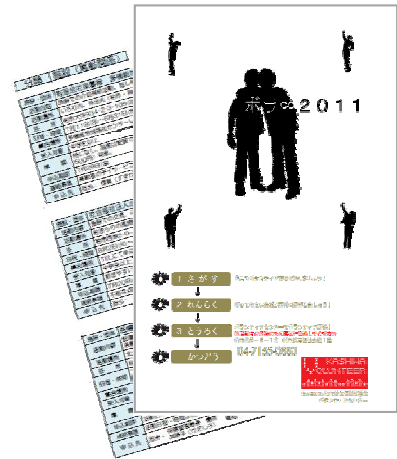
男性におすすめ!
「車椅子修理ボランティア」

- (3) ボランティア情報冊子「ボラ∞2011」創刊
年間を通じて、ボランティア活動に気軽に取り
組めるように、ボランティアを募集している福祉
施設や団体情報を掲載したボランティア情報冊子
を創刊しました。

《掲載施設・団体数》

* 高齢者施設	17施設
* 児童施設	7施設
* 障害施設	12施設
* ボランティア団体	22団体

(H23.7)



- (4) 住民参加型在宅福祉サービスの担い手の確保

サービス提供者の獲得に向け、積極的な取組みを行い、年間100人を越える新たな担い手を確保しました。

- ① さわやかサービスでは、登録時研修や会員研修に登録前でも体験参加できる機会を設けるとともに、公開講座での会員募集を積極的に行いました。
- ② ファミリー・サポート・センターでは、協力会員募集チラシやポスターを作成、配布するとともに、出張説明会を実施する等の取組みを行いました。



公開講座「リバウンドしない片付け術」

- (5) 介護支援サポーター制度の受託

市内在住65歳以上を対象とした介護支援サポーター制度では、新たに100人を越えるサポーター登録がありました。また、受託後2年目の今年度は、フォローアップ研修や会員応援誌「ときめき通信」を年2回発行し、継続的な活動への支援を実施しました。



フォロー講座「コミュニケーション研修」

第3章 各施策の進捗状況

地域密着型社協として、5つの基本方針に基づき、各事業の充実・強化に向けた取り組みを推進しました。

【主な取り組み(実績)】

東日本大震災の被災地及び被災者に対し、積極的な支援活動を行うとともに、その中で得た経験を「災害時に向けた体制づくり」に結び付け、従来の取組みの見直しや新たな体制の整備等を行いました。

(1) 被災地支援活動

被災地(東日本大震災)での支援活動に職員を積極的に派遣しました。特に柏市や東日本大震災復興を支援する柏市民の会とともに支援した気仙沼市の避難所運営については、約3ヶ月に渡り、定期的な職員派遣を行いました。

《主な派遣先と支援内容》

- ＊ 避難所運営支援
気仙沼市(約3ヶ月／交代制で派遣)
- ＊ 災害ボランティアセンター運営支援
福島県いわき市、相馬市、南相馬市、
(各7日～9日派遣)
- ＊ 被災地社協の貸付業務支援
福島県いわき市(1週間派遣)



避難所運営(気仙沼中学校)

(2) 災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの全面改定等

東日本大震災の教訓も踏まえ、従来のマニュアルを全面改定し、より実戦に即した内容とするとともに、マニュアルに基づく設置訓練や定期訓練、災害備品の整備などを行いました。

《主な取組み》

- ＊ マニュアルの全面改定
- ＊ 災害ボランティアセンター設置訓練
- ＊ メーリングリストによる被災時の安否と参集確認等の導入(毎月1回)
- ＊ 災害備品の整備



新たなマニュアルでの設置訓練

※ 活動計画に掲げる目標値の達成状況は、資料「活動計画数値達成状況一覧」参照

第4章 市社協の発展・強化

地域密着型社協の実現に向けた経営戦略として、組織・拠点・財政の3つの視点で取り組みました。

1 組織改革

(1) 役員及び評議員体制の見直し

改選期に合わせ、定数と選出団体数の見直しを行いました。特に評議員は、選出団体を従来の19団体から27団体に増やすとともに、うち12団体を新たな選出団体としました。多くの関係団体が加わることで、より様々な意見が反映できるようになりました。

(2) 協議できる環境づくり

平成23年9月に、理事評議員合同研修会を開催し、活動計画の概要や進捗状況、東日本大震災の取り組み等を説明しました。

また、平成24年3月の理事会及び評議員会から、理事や評議員の選出団体の情報提供の場を設け、より連携しやすい環境をつくりました。



理事会で選出団体の取り組みを紹介

2 拠点改革

(1) 沼南社会福祉センターの修繕計画の見直し

建設後12年が経過した沼南社会福祉センターの修繕等の考え方を整理するとともに、近々の大規模修繕も含めた修繕計画の見直し作業に着手しました。

また、同計画に基づき、今後、修繕積立基金の再設定等を行います。

3 財政改革

(1) 事業運営基金等の見直し

事業運営基金等、基金の見直しを図りました。特に、事業運営基金は、大規模災害等により収入が断たれた場合も、一定の期間安定したサービスの提供と組織維持が出来るだけの資金を確保することを前提に、事業運営基金の積算根拠の見直しと目標額の再設定を行いました。

第5章 地区別計画

各地区社協が、掲げた活動目標に基づき、地域特性を活かしながら地域健康福祉活動を推進しました。

1 藤心地区社会福祉協議会の取り組み

(1) 地域見守りネットワークへの取り組み

地区懇談会の場を活用し、活動の立ち上げに向けた話し合いを重ねた結果、日常的な見守り活動がスタートしました。

町会、民生委員、サロン等が連携し、まずは「緩やかに」気になる高齢者の見守りから取り組んでいる。

《その後の動き》

平成24年度以降は更なる発展を目指し、訪問業者との連携や緊急時の連絡体制の充実等についても仕組みづくりに取り組んでいく予定です。



2 豊四季台地区社会福祉協議会の取り組み

(1) 支え合いの会“えがお”を立ち上げ

平成22年度の先進地域の視察後、立ち上げ検討会の設置や地区懇談会での意見交換、住民アンケートでのニーズ把握を行い、有償のゴミ出し支援活動を立ち上げました。

アンケートによる回答から協力者も多数確保でき、1回100円でゴミ出しの援助を実施中ですが、その他のニーズもあがっていることから、更なるメニューの検討も行っております。

《サービス内容》

- ・ゴミ出し
(1回袋100円 ※1袋5kg未満)
- ・対象は身体機能の低下等によりゴミ出しが困難な世帯
- ・民生委員との連携による活動です



地区別計画進捗状況一覧

No	地区名	地区別計画の成果
1	柏中央地区	町会単位での困りごと相談を続けていくことで、町会ボランティアの活性化につながっている。
2	新田原地区	有償の在宅福祉サービス「ひまわりの会」が開始され、高齢者等のニーズに応じた活動を展開している。
3	永楽台地区	各種事業における参加者数の増加を目指し取り組み、サロン参加者数が前年度比20%増の実績を残している。
4	富里地区	サロン活動の充実を目指し、新たに1箇所でふれあいサロンが立ち上がった。
5	豊四季台西地区	災害や震災に対する認識が深まり、K-netや見守り活動の第一歩を踏み出すことができた。
6	豊四季台地区	住民同士の助けあいを目指し、新たに有償の在宅福祉サービス「支え合いの会 “えがお”」を立ち上げた。
7	旭町地区	各サロンやふれあい給食会等の活動状況の報告やお互いの意見交換などを通じて、親睦を深めること等が出来ました。
8	新富地区	地域と学校の共存を目指した地域づくりに取り組んでおり、サロンや訪問活動においても連携しながら推進している。
9	高田地区	町会単位のサロン活動が充実しており、新たなサロンの立ち上げを検討している。
10	松葉地区	住民の多種多様な“困りごと”の洗い出しを行い、解決に向けた活動に取り組んで行く予定である。
11	田中地区	各町会単位のサロン活動が充実しており、敬老事業もサロンや町会が主体となり分散化を実現した。
12	西原地区	地区懇談会では、いざという時に支え合える地域づくりについて検討し、ご近所での人間関係の大切さを再確認した。
13	富勢地区	障がい者施設との連携が着実に発展しているとともに、身近な地域における見守り支え合いシステムが立ち上がっている。
14	土地地区	県の福祉教育指定団体としての取り組みを終え、学校との連携が更に強化。今後も継続した福祉教育を展開する予定である。
15	藤心地区	町会や民生委員、サロン等の連携のもと、気になる高齢者に対する見守りネットワーク活動の立ち上げを実現した。
16	光ヶ丘地区	2地区社協が統合。合同での地区懇談会では、「向こう三軒両隣」のコミュニケーションの大切さを確認できた。
17	酒井根地区	地域の防犯をテーマに地区懇談会を開催。学校と地域の情報交換を機に、機能的な取り組みを目指している。
18	南部地区	身近な地域の支えあい活動の推進に積極的である。年3回の地区懇談会では講演等を組み込み、意見交換を実施している。
19	大津ヶ丘・塚崎地区	見守り、助けあいを具体的に推進するため戸建地域をモデルとして実施。結果、K-netを活用し体制を整えた。
20	風早北部地区	閉じこもりがちな高齢者の支援を検討し、民生委員や福祉委員、ご近所を巻き込んでの活動展開を目指している。
21	風早南部地区	支えあい登録カードの更新作業の見直しを実施。更なる見守り活動の充実を図っている。
22	手賀地区	介護予防に対する取り組みや意識の強化を図り、新規参加者の増加につなげている。

【資料】 施策別の目標値進捗状況一覧

1 地域で支えあっていくために

1-1 担い手の確保

(1) ボランティアセンターの機能強化

① コーディネート力の強化

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
ボランティア 相談年間件数 (件)	目標値	450	475	500	550	600
	実 績	488	507	3013		
	達成率	108%	107%	603%	%	%

◇ 実績数値 … ボランティアセンターでの相談件数

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
コーディネート 年間件数 (件)	目標値	150	160	170	180	200
	実 績	116	144	236		
	達成率	77%	90%	139%	%	%

◇ 実績数値 … ボランティアセンターでのコーディネート件数

② 市民活動センター等との連携強化

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
市民活動センタ ー等他機関との 協議の場の設置	目標値	機能、役割、連携 内容等の協議		協議結果を踏まえ実践		
	実 績	未実施	実 施			

◇ 実績数値 … 他機関と連携等を目的とした協議の場の有無

(2) ボランティアデビューのきっかけづくり

① ボランティア入門講座の実施

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
ボランティア入 門講座年間回数 (回)	目標値	2	3	3	4	6
	実 績	4	7	12		
	達成率	200%	233%	400%	%	%

◇ 実績数値 … ボランティアセンターで開催した入門講座の回数

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
年間参加人数 (人)	目標値	60	90	90	120	180
	実 績	83	122	200		
	達成率	138%	136%	222%	%	%

◇ 実績数値 … (2) ①の講座に参加した参加者数

② 担い手の地域活動へのコーディネート

* 数値目標なし

(3) 地区単位での担い手づくり

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
講座受講者年間 人数 (人)	目標値	30	60	90	120	200
	実 績	33	64	147		
	達成率	110%	107%	163%	%	%

◇ 実績数値 … 地区単位での担い手づくりを目的とした講座に参加した受講者数

(4) 気軽なボランティアの推進

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
紹介年間件数 (件)	目標値	60	120	200	240	280
	実 績	162	224	396		
	達成率	270%	187%	198%	%	%

◇ 実績数値 … 夏ボラのススメを活用して活動を行った活動者の延人数

1-2 より身近な地域での支えあいの支援

(1) 身近な地域での助けあい支えあい活動の推進

① 地区懇談会等による啓発

* 数値目標なし

② 「身近な地域における助けあい支えあい活動」の出前講座の実施

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
身近な地域（地 域自治組織単位 等）での助けあ い支えあい活動 箇所総数(箇所)	目標値	100	150	200	250	300
	実 績	180	192	213		
	達成率	180%	128%	71%	%	%

◇ 実績数値 … 身近な地域での助けあい支えあい活動(サロン等)箇所総数

(2) 多様な地域福祉活動への支援（新たな団体助成の実施）

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
助成団体総数 ※地区社協除く (団体)	目標値	110	120	130	140	150
	実 績	70	80	92		
	達成率	64%	67%	71%	%	%

◇ 実績数値 … 地区社協を除く、ボランティアグループ等への助成団体数

1-3 地区社協の方向性の確立

(1) 地区別計画の推進

① 地区別計画の目標に向けた取り組みの支援

＊ 数値目標なし

② 地区懇談会の実施

＊ 数値目標なし

③ 地区活動マップの更新

＊ 数値目標なし

(2) 総合的・機能的な組織体制の整備（ふる協との一本化）

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
一本化の地区 総数 (地区)	目標値	13	15	17	19	20
	実 績	14	17	19		
	達成率	108%	113%	112%	%	%

◇ 実績数値 … 地区社協とふるさと協議会が一本化した地区数

(3) 地区活動の理想的な構成員体制づくり（改選及び後継者づくり）

＊ 目標数値なし

(4) 助けあい支えあいを中心とした活動展開

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
支えあい活動へ の転換地区総数 (地区)	目標値	6	8	14	17	20
	実 績	12	10	12		
	達成率	200%	125%	86%	%	%

◇ 実績数値 … 事業の見直しや新たな事業等で、支えあい活動に取り組んだ地区社協数

(5) 活動メニューに応じた助成金の設定

＊ 数値目標なし

(6) コーディネーターの配置

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
コーディネーター 配置地区総数 (地区)	目標値	1	検討結果を踏まえて拡充			
	実 績	1	2	2		
	達成率	100%	－ %	－ %	%	%

◇ 実績数値 … 地域活動拠点にコーディネーターが配置された地区数

2 地域健康福祉を広げ、相談体制を充実するために

2-1 福祉意識の醸成

(1) 新たな啓発方法の推進

① 多様な分野への啓発活動

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
多様な分野への 年間啓発活動数 (回)	目標値	3	5	8	10	12
	実 績	1	2	3		
	達成率	33%	40%	38%	%	%

◇ 実績数値 … 情報紙、HP以外の手法による多様な分野への啓発活動

② 出前講座の充実と推進

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
出前講座のメニ ュー総数 (メニュー)	目標値	4	8	10	10	10
	実 績	4	4	4		
	達成率	100%	50%	40%	%	%

◇ 実績数値 … 社協が実施する出前講座のメニュー数

(2) 障がい者との懇談・交流の推進

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
実施地区総数 (地区)	目標値	5	9	11	17	20
	実 績	8	8	8		
	達成率	160%	89%	73%	%	%

◇ 実績数値 … 障がい者との懇談・交流等に取り組んだ地区社協数

2-2 福祉教育の推進

(1) 市内全校（小中）による福祉教育の推進

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
福祉教育取り組 み学校総数 (校)	目標値	8	9	10	12	15
	実 績	12	15	14		
	達成率	150%	167%	140%	%	%

◇ 実績数値 … 総合的な学習の時間等での福祉教育支援校数

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
授業総数 (講座)	目標値	25	27	30	36	45
	実 績	22	21	38		
	達成率	88%	78%	127%	%	%

◇ 実績数値 … 総合的な学習の時間等での福祉教育支援授業数

(2) 世代を超えた福祉教育の実施

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
多世代型福祉教育の年間回数 (回)	目標値	1	2	3	4	5
	実 績	0	0	2		
	達成率	0%	0%	67%	%	%

◇ 実績数値 … 多世代を対象とした福祉教育の実践数

2-3 潜在的ニーズの発掘と社会化

(1) 「助けて」と言える環境づくり及び (2) 身近な地域における「声かけ」の推進

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
見守りチーム実施地区数 (地区)	目標値	4		10		20
	実 績	5	4	5		
	達成率	125%	100%	50%	%	%

◇ 実績数値 … 福祉委員(地域住民による見守り活動)の設置地区数

(3) 相談支援体制の充実

* 数値目標なし

3 生涯を通じて健康にいきいきと暮らすために

3-1 社会参加、生きがい活動の推進

(1) 生涯学習との連携による社会参加・生きがい活動の推進

* 数値目標なし

3-2 健康づくりの推進

(1) 交流・イベント等を通じた健康づくりの推進

* 数値目標なし

(2) 介護予防に関する情報提供や研修等の実施

* 数値目標なし

4 その人らしく生きるために

4-1 多様なインフォーマルサービスの創出

(1) 住民参加型有償サービスの充実

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
新規協力員年間 総数 (人)	目標値	50	50	50	50	50
	実 績	61	63	107		
	達成率	122%	126%	214%	%	%

◇ 実績数値 … さわやかサービス及びFSCの新規協力・提供会員数

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
C0 研修・情報交 換会年間実施回 数 (回)	目標値	3	3	3	3	3
	実 績	6	4	5		
	達成率	200%	133%	167%	%	%

◇ 実績数値 … 市内の有償サービスの質の向上のための取り組み回数(研修等)

(2) 身近な地域における訪問支援活動の推進

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
研修会・意見交 換会の年間回数 (回)	目標値	1	1	2	2	3
	実 績	0	1	1		
	達成率	0%	100%	50%	%	%

◇ 実績数値 … 訪問支援活動等を対象とした研修会等の実施回数

(3) 地域課題に対応できるボランティア団体等の育成

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
地域課題解決型 ボランティア団 体の新規立ち上 げ数 (団体)	目標値	0	1	1	2	3
	実 績	0	1	0		
	達成率	— %	100%	0%	%	%

◇ 実績数値 … 新たなボランティア団体立ち上げ支援数

4-2 多様化する福祉課題への対応

(1) 法人後見活動の実施

① 法人後見業務の実施

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
法人後見新規受 任件数 (件)	目標値	0	1	2	4	6
	実 績	0	3	3		
	達成率	— %	300%	150%	%	%

◇ 実績数値 … 法人後見新規受入者数

② 生活支援員・後見支援員（仮称）の人材確保

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
生活支援員・後見支援員の総数 (人)	目標値	35	38	40	45	50
	実 績	37	47	37		
	達成率	106%	124%	93%	%	%

◇ 実績数値 … 生活支援員・後見支援員の人数

(2) 相談支援体制の充実（再掲）

5 地域のなかで安心安全に暮らすために

5-1 災害時に備えた体制づくり

(1) 災害ボランティアセンターの体制づくり

① 備品等の整備と設置訓練の実施

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
訓練年間回数 (回)	目標値	1	2	2	2	2
	実 績	1	1	1		
	達成率	100%	50%	50%	%	%

◇ 実績数値 … 災害ボランティアセンター設置訓練の開催回数

② 研修等の開催

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
研修の年間回数 (件)	目標値	1	2	2	2	2
	実 績	1	2	1		
	達成率	100%	100%	50%	%	%

◇ 実績数値 … 災害関係の研修等を開催した回数

(2) 災害関係機関との連携体制づくり

① 災害関係団体等に関する情報収集と連携

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
連携団体総数 (団体)	目標値	0	3	3	5	5
	実 績	0	2	0		
	達成率	— %	67%	0%	%	%

◇ 実績数値 … 災害関係の取組みで、他団体等と協力や連携ができた団体数

② 災害関係団体との協議

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
連絡会等の情報 交流の場の年間 回数 (回)	目標値	0	2	2	3	3
	実 績	0	0	0		
	達成率	— %	0%	0%	%	%

◇ 実績数値 … 災害関係の取組みで他団体と連絡会等で情報交換できた回数

5-2 災害時要援護者の把握と見守り

(1) 災害時に備えた見守り活動の推進

① 災害時要援護者の把握と見守り活動との融合

* 数値目標なし

② 見守り活動を通じた災害時要援護者対策の啓発

* 数値目標なし

5-3 移動支援対策

(1) 送迎サービスの運用体制の見直し

* 数値目標なし

(2) 福祉有償運送従事者の養成・育成

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
養成研修等年間 受講者数 (人)	目標値	50	50	50	50	50
	実 績	4	21	21		
	達成率	8%	42%	42%	%	%

◇ 実績数値 … 福祉有償運送に係る養成研修等の受講者数

備考（報告書の記載事項に関する留意点）

P6-7)「2 支えあい活動の立ち上げ支援」は、柏市社協が、目標達成のために実施した取り組みを中心に記載。 ※ (3)は、地区社協の取り組み

P8-9)「3 ボランティアの育成支援」は、柏市社協が、目標達成のために実施した取り組みを中心に記載。

P8)「新たな担い手 1,000 人確保」における実績数値の積算対象

- 01 ボランティアセンターに新規登録する個人ボランティア数
- 02 災害支援ボランティアとして新規に登録したボランティア数
- 03 新たに情報登録を行うボランティア団体の構成人数
- 04 情報登録をしている既存のボランティア団体に新規加入したボランティア数
- 05 地区社協が実施・支援する支えあい活動(サロン等)の新規ボランティア数
- 06 地域活動センターで調整及び把握する新規ボランティア数
- 07 介護予防事業を支援するボランティア数
- 08 さわやかサービス新規協力会員数
- 09 かしわファミリー・サポート・センター新規協力会員数
- 10 日常生活自立支援事業における新規登録生活支援員数
- 11 介護支援サポーターの新規登録者数
- 12 後見センターにおける新規市民後見人数

※ 02 と 11 は、平成 22 年度より追加

P10)「第 3 章 各施策の進捗状況」は、5 つの基本方針の取り組みとして、新たな事業の実施や特徴的な展開があった取り組みを掲載。

P12)「第 5 章 地区別計画」は、活動計画及び地区別計画の目標等に対し、新たな事業の実施や特徴的な展開を行った積極的な地区社協を掲載。

P13)「地区別計画進捗状況一覧」は、各地区の地区別計画に対する活動やその他特徴的な取り組みについて掲載。

P14-21)「【資料】施策別の目標進捗状況一覧」は、計画書に掲げる目標値に対する実績値を記載。なお、各施策の目標値は、項目ごとに記載。

第 2 期 柏市地域健康福祉活動計画

平成 2 3 年度進捗状況報告書

発 行	2012 年 5 月 29 日
編集発行	社会福祉法人 柏市社会福祉協議会 〒277-0005 千葉県柏市柏五丁目 11 番 8 号 いきいきプラザ内 電話 04-7163-3100 FAX04-7163-9300
